

「総ぐるみ」新聞

入会や活動についてのお問い合わせ先 NPO 総ぐるみ福祉の会事務所
所在地：港南区日限山 4-45-10、Tel 846-8850、Fax 370-7272

「総ぐるみ福祉の会」創立者の一人

庄司俊二さんの「逝去を悼む」

理事長 宮崎浩子

11月20日、庄司俊二様が亡くなられました。3日前の17日に入院先の病院にお見舞いした時「よく来た、よく来た」と嬉しそうに言われただけに、突然の訃報に驚きました。

庄司さんは、戦争中の軍隊生活を除いて、警察のお仕事を長くされた方ですが、私には警察官というイメージとは違う、洒脱な「魅力的なおじいさん」として接していただいていた。でも、NPO 総ぐるみ福祉の会の顧問として理事会に参加された時は、筋を通す正論を述べられ、長年司法の道を歩んで

こられた真の姿を垣間見た思いがしました。

今から十数年前、「地元のためのNPOを創ろう」と、増澤さん宅に集まって熱き想いを語り合った大正生まれの大先輩の最後の一人が旅立たれ、寂しい気持ちでいっぱいです。庄司さん自身も、総会の乾杯の音頭をお願いする度に、NPO 設立当時のエピソードを語られていたことは、ご存知のとおりです。

庄司さんは今頃、増澤さんや笠原さん、今川さん、長谷川さん、辻さんたちと再会し、NPO 総ぐるみ福祉の会について話していることでしょう。大先輩たちの目指した理想に恥じないよう、これからのNPO 総ぐるみ福祉の会を皆様と共に盛り立てていくことをお誓いして、庄司さんのご冥福を心よりお祈りいたします。

第五回 お出かけサポート（11月13日）

新装なった東京駅および皇居東御苑の散策

新見 宏

春に続く秋のお出かけサポートは、当初横浜市内の老舗料亭「田中家」での会食を考えていましたが、お店側の事情で実行できなくなり、急遽、東京駅と皇居東御苑の散策をすることになりました。

当日は、気温は低めながら絶好の秋日和、お誘いした方10名、サポート側8名の参加者は、3台の車に分乗して出発しました。

◆東京駅

戦災で焼け落ち、規模を縮小・修復して営業していた東京駅は、5年がかりの復元工事が昨秋完成して、大正3年の開業当時の赤レンガ造り、3階建ての姿に蘇りました。参加者は、駅前から皇居に続く通称「御幸通り」をゆっくり歩いて、レストランに到着。

◆和田倉噴水レストランで食事

昭和36年、今上天皇のご成婚を記念して和田倉噴水が建設され、平成7年の皇太子ご成婚を記念して公園整備がなされました。この公園内レストランで、洋食バイキングの昼食を摂りました。多種多彩な料理やデザートに、皆さん健啖ぶりを発揮され、大満足の様子でした。

◆皇居東御苑

食後の散歩を兼ねて、お堀端をそぞろ歩いて大手門から東御苑に向かいました。まずは江戸城本丸跡、建物は何もありませんが、手入れの行き届いた公園になっており、「松の廊下」は、「大奥」は、「將軍御座所」はどのあたりかと、想いを巡らせました。かつて天守閣のあった石組みの高台には、車椅子を押して全員が登りました。そこから二の丸公園を経て三の丸へ行き、皇室代々の書画・工芸品を収蔵する三の丸尚蔵館の展示室にも立ち寄りしました。

◆ハプニングあれこれ

参加者を乗せて出発した3台の車は、交通安全・事故防止等を考えて、自由走行にして東京駅に向かいました。その結果、1台の車の到着が約15分遅れました。東京駅の見学は省略してレストランに直行しようとなりましたが、参加者の強い希望でレストラン近くで下車し、徒歩で東京駅まで引き返



和田 倉噴水公園レストランドでは、珍しいお料理をいろいろ美味しくいただきました。皇居のお堀にはアヒルや

し、またレストランまで歩きました。その際、車椅子を車から降ろすのを忘れ、長谷川さんには、杖を頼りに歩いていただくこととなり、ご迷惑をおかけしましたし、レストラン到着が約40分遅れてしまい、先着の皆様方にはご心配をおかけしました。帰途、大黒埠頭サービスエリアで小休止をしようとしたが、1台はすでに通過。全員での休憩はできませんでした。参加者の感想を、次に紹介します。

▼楽しい一日でした 高本 朕子

昼頃に東京駅に到着。外から見る東京駅は、付近にそびえるビル群にもマッチした美しいレンガ造りでしたし、歩道の銀杏並木が黄色く色づいて、とてもきれいでした。

鴨の姿が見られ、東京の中心とは思えないような落ち着いた雰囲気、心が癒されました。東御苑の散策では、石垣の大きな石を、昔の人はどのように運んで積んだのかと思いつながら、松の木が美しい坂道を登り、散策しました。東京駅内部を見たかったのですが、時間がなく立ち寄れなかったのが残念でした。

▼お出かけサポートに初めて参加 赤羽 多規子

天気予報は「寒い」ということでしたが、思いのほか暖かく、快適な一日でした。テレビでも紹介された新装の東京駅をこの目で見られると、車中でも期待を膨らませて話していましたが、途中湾岸線の渋滞にはまって到着が遅れたため、道路越しに正面から眺めるだけで、ちよつとがっかり。昼食の予約時間が過ぎていたため、急いでレストランに向かいました。

お腹を満たした後は、皇居東御苑に向かいました。実は私、50年以上横浜に暮らしながら、二重橋前までは何度か行きましたが、中に入るのは初めて。大手門から皆様と一緒に、よく手入れされたお庭を見ながら楽しく散策しました。素晴らしい石垣に感動しながら天守閣跡に登って四方を眺め、あれが武道館、これが音楽堂と説明していただき、日本の中心を眼下に納め、十分満足して帰ってきました。

▼お出かけサポートの感想

少し冷たい風が吹きましたが、冬晴れの

ドライバー 福田 恵一

お出かけ日和でした。新しくなった東京駅舎、ランチも美味しく、皇居大手門から本丸までの散策などで、あつという間の楽しい一日の時間が過ぎて、無事皆様と帰宅の途につきました。

目的地の土産等買い物時間があれば、帰ってから話がいつそうはずむことだろうと、思ったことでした。

▼初参加のお出かけサポート

ヘルパー 上原 敏夫

福田さんの車の専属ヘルパーが私の担当でした。出発直前に、積み込んだ車椅子タイヤの空気不足を発見、2台に空気を入れてから東京駅に向かって出発。

高速湾岸線を経て銀座出口で一般道に入り、新装なった歌舞伎座、懐かしい銀座4丁目交差点を通過してお堀端へ出ましたが、途中高速道の混雑に会い、東京駅到着が大幅に遅れてしまいました。

食後、大手門から皇居東御苑を散策しましたが、旧江戸城本丸跡から天守閣跡の高台への上り坂はかなりの急坂で、車椅子を押すのに一苦労でした。ここから大手町周辺の景観を楽しみ、宮内庁雅楽の楽堂をバックに記念撮影。参加者の皆さん、大奥の側室気分、とても若返った笑顔でした。気づいた反省点を次にあげておきます。

① 車椅子等の安全チェックを、前日までに行う必要があります。

② 急坂の登り降りには、車椅子利用者の前傾姿勢確保のため、安全ベルトが必要と感した。